

スカイプと一般固定電話の通話料(3分)

		〈発信側〉	
		スカイプ	一般固定電話
〈着信側〉	スカイプ	無料	11円程度 (今秋メド)
	一般固定電話	9円程度	8—80円程度
	携帯電話	60円程度	54—150円程度

東電系通信  
フュージョン

# 無料通話ソフト活用

## スカイプと提携 今秋に割安電話

東京電力系通信会社のフュージョン・コミュニケーションズ(東京・千代田)はインターネットを活用した無料通話ソフトのスカイプ・テクノロジーズ(ルクセンブルク)と提携、今秋から国内で割安電話サービスを始めると発表。固定電話からは全国一律三十一円程度で済む、法人顧客の獲得を狙う。世界で急速に浸透しているスカイプを日本の

通信大手が手掛けることで普及に弾みがつきそうだ。(解説9面に)

無料通話ソフトは既存の通信事業の収益基盤を脅かしかねないだけに、国内通信各社は提携に慎重だった。フュージョンは東電の通信子会社パワードコム(東京・港)の子会社で、IP(インターネット)プロトコル電話の草分け的存在として安価な通話料を求める企

業などの要望に応える。スカイプはインターネット利用者同士なら通話料も基本利用料もない。国内固定電話への通話料は従来、一分三円程度とIP電話並み。ただ、電話番号ではなく、事前に登録した利用者名を使って通話する仕組みのため、スカイプ利用者は一

般電話から受信できず、利用は限られていた。今回、両社は既存の電話番号のままスカイプ電話に転送できる仕組みを開発、一般電話からの着信を実現する。スカイプ利用者はフュージョンのIP電話に加入すれば、割安料金で一般の固定電話と発着信可能になる。

フュージョンは今秋にも法人向けに提供を始め、個人にも対象を広げる考え。同社のIP電話の月額基本料は電話番号一つ当たり約四百円で、新サービスも同程度に抑える。普及すれば利用者の通話料が減る恐れはあるが、契約者増による基本料などで収入増を狙う。